

令和7年度 北海道中標津高等学校シラバス

教科名	現代の国語	単位数	1 単位	学年・学科	2 年 総ビ科必修
教科書	第一学習社 『高等学校現代の国語』	副教材		『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版) 『ネクスト常用漢字』(第一学習社)	
教科目標	実社会に必要な国語の知識・技能を身に付け、論理的思考や、他者と共感するための想像力を伸ばすことで、他者との関わりながら、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになることを目標としています。同時に、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を培ってください。				
授業内容 進め方	基本的な語句や表現の知識を身につけながら、まずは教科書の文章を中心に、正確な読解力を養ってください。そのために、事前に取り組む課題があります。語句の意味調べを中心に、疑問・興味・関心に従って積極的な調べ学習を進めてください。様々な考え方や論理的思考を身につけた上で、他者と意見を交わし合い、自分の生き方・社会の在り方について考えを深め、最終的にはそれを表現できるようになってもらいます。				
授業の留意点	授業では事前課題をこなしていることが前提となります。語句の意味や漢字等の知識を確認した上で、扱われている問題や筆者の主張、考え方について自分で考え、理解するように努めてください。授業中の質問は大歓迎です。積極的に質問するよう心がけてください。また、自分の考えなどを発表してもらう時がありますが、間違えることを恐れずに、積極的な発言を期待します。				
学習方法 (アドバイス)	事前課題を中心に、わからないことは自分で調べるという姿勢が基本です。電子辞書やインターネットによる検索は最大限活用してください。ただし、ネットを利用する場合は出典や信憑性に十分留意することが必要です。また、ただ正解をコピーするのではなく、なぜそうなのか、本当にそうなのか、ということ等を常に自問自答する姿勢が大切であり、その姿勢が「学びに向かう力」の評価内容となります。				
課題・補習	適宜、語句の意味調べ等の事前課題があります。また、ことわざや四字熟語といった国語常識の知識を増やすために、GoogleClassroomで課題を課すことがあります。正解か不正解かということだけでなく、どれだけ積極的に取り組んだかも含めて観点別に評価します。				
試験について	『ネクスト常用漢字』を用いた10点満点の漢字テストを週1回行います。また、授業内容に合わせて単元テストを実施するほか、国語常識などの確認テストを行う場合もあります。				
評価の 観点・方法	評価の観点		評価方法		
	①知識・技能		「文字・語彙・文法・文章構成・言語文化等についての理解を深め、実社会に必要な知識を身に付けているか」。具体的には、定例の漢字テストや単元テストの漢字・ことわざ・四字熟語・有職故実問題といった知識力と、それを活用するための技能が問われます。		
	②思考・判断・表現		「文章をはじめとした情報を的確に読み取り、その内容を理解しているか。必要な情報を用い、場面や目的、課題に応じて適切な表現によることで、他者との関わりを深めているか」。具体的には、単元テストの読解問題での理解度、記述問題や発言による表現力が問われます。		
	③主体的に学習に取り組む態度		「国語を理解し言語能力を自ら高めるとともに、読書や情報収集を通じて社会との関わりを深めようとしているか」。具体的には、語句の意味調べ等の課題を意欲的に行っているか、自ら課題を見つけて興味・関心を広げ、主体的に自己の能力を伸ばそうとしているかが問われます。		
備考					